



参加者は新緑の中、心地よい汗を流しながら山頂を目指しました

南昌山（標高848㍎）の山開きが6月3日に行われ、家族連れや登山愛好家など約180人が参加しました。出発前に町国民保養センター前で神事を行い今シーズンの安全を祈願しました。その後、上級者向けの前倉コースは約3時間、一般向けコースは約2時間かけて山頂へ。参加者は昼食を食べながら、山頂から見える景色と初夏の南昌山の自然を満喫していました。北日本高等専修学校の学生が、矢巾温泉前で車上荒らしに遭わないように呼びかけるとともに、南昌山一般コースのごみ拾いを行いました。

## 51回目の南昌山山開き 今シーズンの登山の安全を祈願

## まちの話題 あれこれ

身の回りに起きた出来事など、楽しい情報をお寄せください。  
役場企画財政課  
(☎ 611-2724)



山頂では、登頂を記念してみんなで記念撮影をしました

## 高橋町長、矢巾アローズを激励 町内学童野球チーム初の全国舞台



全国大会に出場する総勢15人の選手

高橋町長は6月17日、町内学童野球チームで初の全国大会出場を決めた矢巾アローズ（鈴木保監督）を訪問。練習前の選手たちに「攻めの姿勢で、優勝目指して頑張ってきてほしい」と激励しました。矢巾アローズは、昨年11月開催の「岩手県ジュニア学童野球選手権」で3位の成績を収め、同大会上位3チームに与えられる全国大会出場権を勝ち取りました。7月27日から高知県で開催される「第8回龍馬旗争奪西日本小学生野球大会」出場にあたり、キャプテンの眞下朝日くんは「つなぐ野球で勝利を目指す」と意気込みを話しました。



高橋町長に大会出場への決意表明を述べる眞下キャプテン



### 町国保連協会長が表彰されました

町国民健康保険運営協議会の齊藤悦子会長は5月18日に、岩手県国保連協会長表彰を受賞しました。永年にわたる町の国民健康保険の健全運営に尽力されたことが認められました。



### 熱く燃えた町内小学校運動会

町内小学校の運動会が5月26日に各学校で開催されました。

矢巾東小学校（小山田孝校長）の運動会では、多くの観客が見守る中、児童たちが勝利を目指して熱い戦いを繰り広げていました。



### 住民票などがコンビニで取得可能に

6月1日からマイナンバーカードを利用して、コンビニで住民票などの証明書が取得できる「コンビニ交付」をスタート。町では、ローソン花矢巾ニュータウン店でセレモニーを開催し、高橋町長が住民票を取得しました。



職員から正しく分別されなかったごみの種類を聞く参加者

町では5月28日、「ごみ減量推進委員の研修会」を盛岡・紫波地区環境施設組合の清掃センターで開催。推進員8人が参加し、地域内のごみ減量推進活動のため、知識を深めていました。

推進員は、正しい分別方法やごみ処理過程で発生した再資源の売り払い、蒸気を利用した発電と入浴施設の運営などを職員から聞きながら、施設内を見学しました。

新しく流通センター行政区の委員になった堀口和章さんは「ごみの分別を手作業で行っているとは思わなかった。時間のかかる作業なので正しい分別を地域で呼びかけたい」と話していました。

## ごみ減量推進リーダーを育成 ごみ減量推進委員の研修会開催



馬に笹の葉を食べさせる園児

南部盛岡チャグチャグ馬コ同好会矢巾支部（藤井照夫支部長）と町観光協会（吉田秀一会長）の共催で6月4日、町内でチャグチャグ馬コ前祝祭を行い、園児や高齢者が馬コとふれあいました。

やはばこども園には、色鮮やかな装束を身に着けた母馬と生後15日の子馬が訪れ、園児たちは、手を振ったり、笹の葉を食べさせて馬コと交流しました。馬の装束には、大小さまざまな鈴が多数飾られ、その重さは約100キロになります。

6月9日の南部盛岡チャグチャグ馬コパレードには、矢巾町から19頭の馬が参加しました。

## 馬コが鈴の音を響かせて 町内各施設を巡回しました